



くら た かん じ
倉田寛次

しみん
市民クラブ

**シルバーエミカの現状
と交通空白地域対策は**

問 高齢者の外出支援事業として平成29年9月25日から始まったシルバーエミカの現状は。

また、公共交通空白地域対策について、先日、開催された美杉地域公共交通あり方検討会では、現行のコミュニティバスのルートは利用度が低いため廃止し、デマンド交通の仕組みに切り換えることを前提とした説明がなされていたように感じたが、執行部の考え方は。

答 シルバーエミカについては、今年7月末までに7,062枚を発行し、今年6月末までの利用実績は、民間バスは延べ31,197人、コミュニティバスは延べ39,994人である。コミュニティバスの乗車率は、13%程度の増にとどまっているため、2020年度からの次期地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、思い切ったルート再編を含めて検討していく。

交通空白地域対策としてのデマンド交通の仕組みを、現行のコミュニティバスのルートを存続した上で導入するのか、当該ルートを廃止した上で導入するのかについては、利用者の方の使い勝手と、経費の面の両方を考えながら検討していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 報告第53号～第65号 専決処分
分の報告について
- 道路管理について
- 災害に強いインフラ整備を
- 防災、減災について
- スクールバスの入札について



▲スクールバスの運行が適正な
落札価格となるよう改善を



あお やま のり たけ
青山昇武

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

**津シティマラソンをど
のようにしていくのか**

問 2021年に三重県で国体が開催され、市民のスポーツへの関心が高まる中、津シティマラソンにも注目が集まっている。

シティマラソンの大会イメージは、ランナーはもとより、沿道の応援や給水所など、市民で創り上げていくものである。

大会終了後に、ハガキやスタンプカードを送るなど「おもてなし」の心で次回参加につなげていってほしいが、市の考えは。

答 ランナーにとっては、交通規制した県道を走るのとはとてもうれしいし、市街地コースもあるので、沿道からたくさんの声援を受けると、とても元気が出るというお話も聞いている。

運営に関しては、スポーツ関係団体に加え、観光、医療、民間事業所、周辺自治会等さまざまな関係者の応援やサポートが必要である。また、地元の小中学校の皆さんに、のぼり旗の作製や吹奏楽の演奏などの協力依頼を行っている。

多くの市民の方が、この大会にいろいろな形で参加していただき、回を重ねるごとに、ランナーは走ってみたい、そのほか、関わる方にとっても、応援してみたい、見にいってみたいと思えるような、津市を代表するようなイベントを目指していく。

●その他の質疑・質問●

- 報告第66号および第67号
- 駐車場除草作業に伴う事故による損害賠償について
- 議案第92号
- 生け垣緑化推進事業
- 部活動指導員活用事業
- 新たな新町会館について
- 建設に係る進捗状況は
- 地元地域の意見・要望は聞いているのか
- 施設の規模・機能は



▲第14回津シティマラソンの発着点となる「サオリーナ」